



JIS 版

参照番号: AC-J-1136

作成日: 2017年12月19日

改訂日: 2023年06月30日

安全データシート (SDS)

この SDS は、JIS [日本]の規則に従い作成されている。

1. 製品及び会社情報

1.1. 製品名

製品名: アドパックホワイト
型式: TP-810 (M)
一般名: 防錆紙 (または気化性防錆紙)

1.2. 会社情報

会社名: アドコート株式会社
住所: 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目2番地20
電話番号: 0774-66-1911
Fax 番号: 0774-94-9027
緊急時の連絡先: 0774-66-1911

1.3. 推奨用途

鉄系金属の長期防錆包装 [JIS Z 0303:2009 の RP1-K2]

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS 分類

物理化学的危険性: 成形品のため分類対象外
健康に対する有害性: 成形品のため分類対象外
環境に対する有害性: 成形品のため分類対象外

2.2. ラベル要素

絵表示: なし
注意喚起語: なし
危険有害性情報: なし
注意書き: なし

2.3. 他の危険有害性

PBT 及び vPvB 評価を満たさない。

3. 組成及び成分情報

3.1. 物質、混合物及び成形品の区別

成形品

3.2. 成分情報

成分名	濃度/wt%	CAS No.	官報公示整理番号
セルロース	60 - 70	9004-34-6	—
ポリエチレン	15 - 25	9002-88-4	(6)-1
水	1 - 10	7732-18-5	—
ジシクロヘキシルアミン亜硝酸塩	5 - 15	3129-91-7	—
添加剤	1 - 5	—	—
接着剤	1 - 5	—	—
印刷インク [赤]	< 0.1	—	—

気化性防錆剤の詳細な情報については、企業秘密のため開示できません。

4. 応急処置

4.1. 応急措置の説明

吸入した場合: うがいをすること。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 水と石鹼で洗うこと。

皮膚の刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で 15-20 分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口を水ですすぐこと。

気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。

4.2. 予想される急性症状及び遅発性症状

情報なし

4.3. 応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

情報なし

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

水、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂

5.2. 使用禁止の消火剤

紙製品は、二酸化炭素消火剤が適さない。

5.3. 特有の危険有害性

有害ガス (一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物)を発生する可能性がある。

5.4. 特有の消火方法及び消火を行う者の保護

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から製品を移動する。

消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具 (“8. 暴露防止及び保護措置”を参照)を着用し、眼及び皮膚への接触を避ける。

6.2. 環境に対する注意事項

環境中への放出を避ける。

6.3. 封じ込めおよび浄化の方法

掃除用具で、ポリ袋等に回収する。

6.4. 二次災害の防止策

紙片を踏むと滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 取扱い

技術的対策: “8. 暴露防止及び保護措置”に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項: 気化性防錆剤の気化が促進されるため、高温環境を避ける。

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

取扱いや保管場所の近傍での飲食、喫煙しないこと。

7.2. 保管

技術的対策: 保管場所には、必要な照明及び換気の設備を設ける。

水濡れの恐れのない場所に保管し、転倒及び落下を防止する。

混触禁止物質: 酸化剤 (“10. 安定性及び反応性”を参照)

保管条件: 直射日光、熱、火気、酸化剤から離して保管する。

涼しく換気のよい場所で保管する。

容器を開放状態で保管しないこと。

容器包装材料: 防湿材で包装する。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理濃度・作業環境評価基準

ACGIH TLV-TWA (2013): 10 mg/m³ (Cellulose)

ACGIH TLV-STEL (2013): 該当しない

UK HSE WEL-TWA (2011): 10 mg/m³ (Cellulose; inhalable dust)
4 mg/m³ (Cellulose; respirable)

UK HSE WEL-STEL (2011): 該当しない

EU IOELV (2015): 該当しない

OSHA PEL: 15 mg/m³ (Cellulose; Total dust)
5 mg/m³ (Cellulose; Respirable fraction)

日本産業衛生学会 (2016): 2 mg/m³ (第3種粉塵; 吸入性粉塵)
8 mg/m³ (第3種粉塵; 総粉塵)

8.2. 保護具

呼吸器の保護具: 必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具: 保護手袋を着用する。

眼の保護具: 保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

8.3. 設備対策

粉塵が発生する場合は、換気装置を使用する。

8.4. 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

取扱いや保管場所の近傍での飲食、喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

8.5. 暴露防止

環境への流出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

外観: ロールもしくは平判

色合い: 薄茶色 / 白色

におい: わずかにアミン臭

臭気限界: 情報なし

pH: 情報なし

融点/凝固点:	情報なし
沸点/初留点/沸点範囲:	情報なし
引火点:	情報なし
蒸発速度:	情報なし
可燃性 (固体、気体):	情報なし
爆発限界:	情報なし
蒸気圧:	情報なし
蒸気密度:	情報なし
比重:	情報なし
溶解性:	情報なし
n-オクタノール/水 分配係数:	情報なし
発火点:	情報なし
分解温度:	情報なし
粘度:	情報なし

10. 安定性及び反応性

10.1. 安定性

通常の手扱い条件下では安定である。

10.2. 反応性

通常の手扱い条件下では有害な反応は起らない。

10.3. 避けるべき条件

粉塵が発生する場合、換気装置を使用する。

直射日光、熱、火気、酸化剤を避け、涼しく換気のよい場所で保管する。

容器を開放状態で保管しないこと。

10.4. 混触危険物質

酸化剤

10.5. 有害な分解生成物

燃焼した時、有害ガス (一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物) を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性:	該当しない
皮膚腐食性/刺激性:	該当しない
眼に対する重篤な損傷/刺激性:	該当しない
呼吸器または皮膚感作性:	該当しない
生殖細胞変異原性:	該当しない
発がん性:	該当しない

生殖毒性:	該当しない
特定標的臓器毒性 - 単回暴露 -:	該当しない
特定標的臓器毒性 - 反復暴露 -:	該当しない
吸引性呼吸器有害性:	該当しない
その他の情報:	関連情報なし

12. 環境影響情報

毒性:	該当しない
残留性/持続性:	関連情報なし
生体内蓄積性:	関連情報なし
土壌中の移動性:	関連情報なし
PBT 及び vPvB 評価:	PBT 及び vPvB 評価を満たさない。
他の有害影響:	関連情報なし

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄方法

各国及び地域の関連する法律/条例に従う。

13.2. 製品の包装材

洗浄後にリサイクルするか、各国及び地域の関連する法律/条例に従い廃棄する。

容器を処分するとき、残っている製品すべてを取り除くこと。

14. 輸送上の注意

14.1. 国内 (日本)規則

該当しない

14.2. 国連番号

該当しない

14.3. 国連出荷名

該当しない

14.4. 輸送時の危険性リスク

該当しない

14.5. 容器等級

該当しない

14.6. 環境有害性

該当しない

14.7. 使用者のための特別予防措置

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

14.8. MARPOL 73/78 の付属書 II 及び IBC Code

該当しない

15. 適用法令

15.1. 日本 (JP)

消防法: 指定可燃物「品名: ぼろ及び紙くず」
毒物及び劇物取締法: 該当しない
労働安全衛生法: 該当しない
化学物質審査規制法: 該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 制度): 該当しない

15.2. ヨーロッパ (EU)

RoHS (特定有害物質使用制限)指令: 該当しない
BPR (殺生物性製品)規則: 該当しない
SVHC (高懸念物質): 該当しない
POPs (残留性有機汚染物質)規則: 該当しない

15.3. アメリカ (USA)

California Proposition 65: 記載なし

16. その他の情報

16.1. 参照番号

AC-J-1136

16.2. 更新

作成日: 2017年12月19日

改訂日: 2018年07月09日

1 ページ目に「JIS 版」と記載

1.1 項に「型式」を追記

2020年02月12日

参考文献を「JIS Z 7252:2019」「JIS Z 7253:2019」「GHS (rev8)」に改訂

2023年06月30日

参考文献を「GHS (rev9)」に改訂

16.3. 参考文献

公的機関などの危険有害性情報

JIS Z 0303:2009

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

(EC) No 1907/2006

(EC) No 1272/2008

Hazard Communication Standard

GHS (rev9)

[免責事項]

本 SDS は、JIS Z 7252:2019 及び JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成しています。しかしながら、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更いたします。また、注意事項等は通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。